

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
基準日 定時株主総会・期末配当:3月31日
中間配当:9月30日
公告方法 電子公告。但し、やむを得ない事由によって電子公告することができない場合、日本経済新聞に掲載します。
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

株式事務手続きのお問い合わせ先

住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について
●証券会社の口座に記録された株式に関するお問い合わせ先
株主様の口座のある証券会社等にお申し出ください。
●特別口座に記録された株式に関するお問い合わせ先
三井住友信託銀行株式会社 (特別口座管理機関) にお申し出ください。

未払配当金のお支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

WEB INFORMATION

ホームページのご案内

株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示を行っております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。

ホームページアドレス <https://www.adeka.co.jp>



IRページ

トップページ

第159期 中間決算のご報告

2020年4月1日 ▶ 2020年9月30日

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。
●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4401

いいかぶ 検索

空メールにより URL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。
ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

CONTENTS

株主の皆様へ
報告セグメント別概況
中間連結財務諸表
会社の概要・株式の状況
ADEKAグループ CSRへの取り組み

To Our Shareholders

"先端技術で明日の価値を創造し豊かなくらしに 貢献するグローバル企業"を目指します。



株式会社 ADEKA 代表取締役社長

城 諾 秀 尊

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社グループの第159期中間期(2020年4月1日から2020年9月30日まで)の事業概況についてご報告申し上げます。

当中間期における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大が続くなかで経済活動が停滞し大きく減速しました。国内は、経済活動が段階的に再開するなかで個人消費や生産、輸出に持ち直しの動きが見られましたが、企業収益の大幅な減少が続くなど依然として厳しい状況で推移しました。

当社グループ事業の主要対象分野である自動車関連分野は、世界的な新車需要の減退により生産台数が大幅に減少しました。IT・デジタル家電分野は、テレワークの拡大やデジタル化推進を背景にパソコンやテレビの需要が増加した一方で、スマートフォンは販売低迷が続きました。食品分野は、国内の巣ごもり需要が一巡したことに加え、インバウンド需要の消失や夏場の長雨、猛暑も影響し、特にコンビニ、観光・外食産業は低調に推移しました。

| | |
|------------|--------|
| 1株当たり中間純利益 | 55円44銭 |
| 中間配当金 | 24円 |

このような厳しい事業環境ではありますが、当社グループは中期経営計画『BEYOND 3000』(2018年度~2020年度)の最終年度の総仕上げとして、3つの基本戦略「3本柱の規模拡大(樹脂添加剤、化学品、食品)」「新規領域への進出」「経営基盤の強化」のもと、目標達成に向けて施策を推し進めています。化学品では、中国の艾迪科精細化工(浙江)有限公司で樹脂添加剤などの化学製品を製造する新工場が稼働しました。相馬工場でエンジンオイル用潤滑油添加剤設備を増強しました。また、コーポレートガバナンスのさらなる充実を図るため、取締役会の任意の諮問機関として「指名・報酬委員会」を本年11月2日に設置しました。

新型コロナウイルス感染症への対応としましては、お客様と従業員の安全を最優先にウェブ会議の活用やテレワークなど社内外への感染症拡大防止を推進しつつ、各国政府の政策に対応した形で事業活動を継続しました。

当中間期の連結業績につきましては、売上高は1,386億31百万円(前年同期比5.2%減)、営業利益は89億61百万円(同0.7%減)、経常利益は83億62百万円(同1.0%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は57億23百万円(同3.3%減)とな

りました。
当中間期の配当金につきましては、当初の予想通り1株につき24円(前年同期24円)とさせていただきます。なお、年間配当金につきましては、中間配当金と合わせて1株につき48円(前期48円)とする予定です。

通期の業績見通しにつきましては、本年8月12日に公表した期初の各利益予想を上方修正し、売上高2,900億円、営業利益200億円を見込んでおりますが、前年度比では減収・減益となる予想を立てています。

現在、世界は新型コロナウイルスにより消費、働き方、さらには社会の在り方さえも変える大きな転換期を迎えております。変化に対応する柔軟性と当社グループの技術力を最大限に生かし、大胆さとスピード感をもって成長戦略を推し進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、当社グループの事業及び経営につきましてご理解いただき、今後とも一層のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

2020年12月

■ 当第2四半期実績・通期業績予想

(単位:百万円)

| | 2019年度 第2四半期 実績 | 2020年度 第2四半期 実績 | 第2四半期 増減 | 2019年度 通期 実績 | 2020年度 通期 予想 | 通期 増減 |
|-----------------|--------------------|--------------------|-------------|-----------------|-----------------|----------|
| 売上高 | 146,172 | 138,631 | △5.2% ↓ | 304,131 | 290,000 | △4.6% ↓ |
| 営業利益 | 9,021 | 8,961 | △0.7% ↓ | 22,517 | 20,000 | △11.2% ↓ |
| 経常利益 | 8,278 | 8,362 | 1.0% ↑ | 21,976 | 19,200 | △12.6% ↓ |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 5,918 | 5,723 | △3.3% ↓ | 15,216 | 12,000 | △21.1% ↓ |

売上高
1,386億31百万円



化学品事業
52.6%



食品事業
23.6%



ライフサイエンス
事業
20.9%

第159期

※売上高グラフの構成にはその他の事業は含まれておりません。

化学品事業

売上高
729億53百万円
(前年同期比10.2%減)

営業利益
71億92百万円
(同18.0%減)

【樹脂添加剤】

自動車の生産・販売台数減少により、自動車部材に使用される核剤、光安定剤、ゴム用可塑剤の販売が大幅に落ち込みました。

建材向けでは、住宅着工戸数の減少が続き、塩化ビニル安定剤の販売が北米を中心に低調でした。

食品包装・医療用途では、感染予防対策として食品の個包装が増加したことにより、透明化剤等の販売が海外を中心に底堅く推移しました。また、医療用チューブ等の需要増加により、当該分野に使用される安定剤の販売も堅調でした。

自動車や家電、日用品等のプラスチック製品に幅広く使用される酸化防止剤は、価格競争の影響を受け全般的に販売が低調でした。

家電筐体向けエンジニアリングプラスチック用難燃剤は、安定操業による供給体制が評価され中国、東南アジア等で販売が好調に推移しました。

樹脂添加剤全体では、固定費の削減に努めたものの、販売数量の減少等により前年同期に比べ減収減益となりました。

【情報・電子化学品】

半導体向けでは、先端DRAM向け新製品の出荷が順調に拡大し、NAND向け製品の販売も中国を中心に伸長しました。また、EUVによる微細化が進むリソグラフィ工程で使用される光酸発生剤の販売が引き続き好調に推移しました。一方で、半導体メモリ向け既存製品の価格下落や為替の影響を受けました。

ディスプレイ向けでは、フラットパネルディスプレイの生産が持ち直し、光学フィルム向け光硬化樹脂、カラーフィルター向け光重合開始剤の販売が底堅く推移しました。また、ディスプレイ用エッチング薬液の販売が堅調でした。

情報・電子化学品全体では、半導体材料での新製品寄与もあり、前年同期に比べ増収増益となりました。

【機能化学品】

自動車の生産・販売台数減少により、エンジンオイル用潤滑油添加剤や特殊エポキシ樹脂の販売が大幅に落ち込みました。また、土木・建築や一般工業向けの界面活性剤、過酸化製品、プロピレングリコール類は、ユーザーの生産調整の影響を受け、販売が低調でした。

化粧品・トイレタリー向けでは、手洗い・消毒向け製品の販売が引き続き堅調に推移したものの、インバウンド需要の消失により、化粧品向け特殊界面活性剤の販売が国内外で低調でした。

機能化学品全体では、販売数量の減少や前期に実施した設備投資による償却費の増加等により、前年同期に比べ減収減益となりました。

ADEKAグループコーポレートスローガン『Add Goodness』を制定

私たちの事業や姿勢を端的に表現する、コーポレートスローガンを制定しました。

単なる素材ではなく、高い技術やサービスを結集した「素財」の提供を通じて「くらしをより良く」していくという決意を新たに、一層の企業価値向上を目指してまいります。



すべてのものは、今より良くなる。

くらしに、さらなる豊かさや便利さ、

安心をもたらすために。

素材に、さらなる機能性や耐久性、

環境性能をプラスする。

私たちは、素材の価値を高める。

そして、素材を「素財」に変える。

私たちは、アデカです。

食品事業

売上高
327億25百万円
(前年同期比5.4%減)

営業利益
2億57百万円
(同41.4%減)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う移動自粛や夏場の長雨、猛暑により国内需要が落ち込み、製パン、製菓用のマーガリン、ショートニング類の販売が低調に推移しました。また、観光や帰省需要の消失により、土産菓子用のマーガリン、ショートニング、フィリング類の販売が低調でした。一方で、食品ロス削減や省力化に貢献する練込用マーガリン「マーベラス」の機能性が高く評価され、販売が拡大しました。

洋菓子・デザート向けでは、ホイップクリームの販売が好調に推移しました。

海外では、中国、東南アジアでの移動制限に伴う営業活動の停滞もあり、製パン、製菓用のマーガリン、ショートニング類の販売が低調でした。

食品事業全体では、高付加価値品の拡販に努めたものの、海外での販売数量の減少により固定費をカバーできず、前年同期に比べ減収減益となりました。

ライフサイエンス事業

売上高
289億98百万円
(前年同期比11.0%増)

営業利益
10億74百万円
(前年同期は6億34百万円の営業損失)

農業は、国内では、主力自社開発品目の普及拡販に努めた結果、販売が好調に推移しました。海外では、欧州、インドなどでの販売が好調でした。一方で、南米地域ではブラジル市場の競争激化の影響等から、販売が低調でした。

医薬品は、爪白癬分野で外用抗真菌剤「ルリコナゾール」の販売が好調に推移しました。

ライフサイエンス事業全体では、海外での農業販売の拡大やNICHINO EUROPE CO., LTD.を連結化したことにより、前年同期に比べ増収増益となりました。

中間連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

| 科目 | 当中間期末 (2020.9.30現在) | 前年度末 (2020.3.31現在) |
|----------------|------------------------|-----------------------|
| (資産の部) | | |
| 流動資産 | 223,490 | 227,635 |
| 固定資産 | 179,867 | 181,816 |
| 資産合計 | 403,358 | 409,452 |
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | 90,379 | 92,704 |
| 固定負債 | 59,581 | 66,114 |
| 負債合計 | 149,961 | 158,818 |
| (純資産の部) | | |
| 株主資本 | 203,893 | 201,412 |
| その他の包括利益累計額 | 10,063 | 8,854 |
| 非支配株主持分 | 39,440 | 40,367 |
| 純資産合計 | 253,396 | 250,634 |
| 負債及び純資産合計 | 403,358 | 409,452 |

中間連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

| 科目 | 当中間期 (2020.4.1~2020.9.30) | 前中間期 (2019.4.1~2019.9.30) |
|-----------------|------------------------------|------------------------------|
| 売上高 | 138,631 | 146,172 |
| 営業利益 | 8,961 | 9,021 |
| 経常利益 | 8,362 | 8,278 |
| 税金等調整前中間純利益 | 8,213 | 8,363 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 5,723 | 5,918 |

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

| 科目 | 当中間期 (2020.4.1~2020.9.30) | 前中間期 (2019.4.1~2019.9.30) |
|--------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 20,355 | 16,056 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △6,255 | △7,891 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | △7,136 | △7,171 |
| 現金及び現金同等物に 係る換算差額 | △940 | △589 |
| 現金及び現金同等物の 増減額 | 6,022 | 404 |
| 現金及び現金同等物 期首残高 | 60,888 | 56,504 |
| 新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額 | 3,982 | - |
| 現金及び現金同等物 中間期末残高 | 70,893 | 56,909 |

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要・株式の状況 (2020年9月30日現在)

会社の概要

| | |
|------|----------------------------|
| 設立 | 1917年1月27日 |
| 資本金 | 22,994,874,772円 |
| 従業員数 | 5,434名 (連結) 1,830名 (単独) |

役員

| | |
|--------------|---------|
| 代表取締役社長 | 城 詰 秀 尊 |
| 代表取締役 専務執行役員 | 富 安 治 彦 |
| 取締役 常務執行役員 | 荒 田 亮 三 |
| 取締役 執行役員 | 小 林 義 昭 |
| 取締役 執行役員 | 藤 澤 茂 樹 |
| 取締役 執行役員 | 藤 賀 洋 二 |
| 取締役 執行役員 | 芳 仲 篤 也 |
| 取締役 執行役員 | 安 田 晋 |
| 取締役 執行役員 | 川 本 尚 史 |
| 取締役(社外) | 永 井 和 之 |
| 取締役(社外) | 遠 藤 茂 |
| 常勤監査役 | 林 義 人 |
| 常勤監査役 | 矢 島 明 政 |
| 監査役(社外) | 山 章 雄 |
| 監査役(社外) | 竹 村 葉 子 |
| 監査役(社外) | 佐 藤 美 樹 |

執行役員 (取締役兼務者を除く)

| | |
|--------|---------|
| 上席執行役員 | 角 田 憲 康 |
| 執行役員 | 渡 邊 洋 |
| 執行役員 | 池 田 憲 司 |
| 執行役員 | 田 谷 浩 一 |
| 執行役員 | 正 宗 潔 |
| 執行役員 | 梶 村 徹 |
| 執行役員 | 巽 幸 男 |
| 執行役員 | 前 野 正 樹 |
| 執行役員 | 柿 本 博 英 |

連結子会社

ADEKAケミカルサプライ(株)
ADEKAクリーンエイド(株)
ADEKAファインフーズ(株)
ADEKA総合設備(株)
AMFINE CHEMICAL CORP. [米国]
ADEKA (SINGAPORE) PTE.LTD.
オキシラン化学(株)
ADEKA食品販売(株)
ADEKA物流(株)
長江化学股份有限公司[台湾]
(株)ヨンゴ
ADEKA KOREA CORP.
ADEKA (ASIA) PTE.LTD. [シンガポール]
ADEKA EUROPE GMBH [ドイツ]
台湾艾迪科精密化学股份有限公司
ADEKA POLYMER ADDITIVES EUROPE SAS [フランス]
ADEKAライフクリエイト(株)
艾迪科(中国)投資有限公司
艾迪科精細化工(上海)有限公司[中国]
艾迪科精細化工(常熟)有限公司[中国]
上原食品工業(株)
ADEKA FINE CHEMICAL (THAILAND) CO., LTD.
艾迪科食品(常熟)有限公司[中国]
AM STABILIZERS CORP.[米国]
ADEKA FOODS (ASIA) SDN.BHD.[マレーシア]
ADEKA USA CORP.[米国]
(株)クラウン
日本農業(株)
(株)ニチノー緑化
(株)ニチノーサービス
NICHINO AMERICA, INC.
日本エコテック(株)
日佳農薬股份有限公司[台湾]
(株)アプリマート
NICHINO INDIA PVT.LTD.
NICHINO CHEMICAL INDIA PVT.LTD.
SIPCAM NICHINO BRASIL S.A.
艾迪科精細化工(浙江)有限公司[中国]
ADEKA AL OTAIBA MIDDLE EAST LLC[アラブ首長国連邦]
NICHINO EUROPE CO., LTD.[英国]

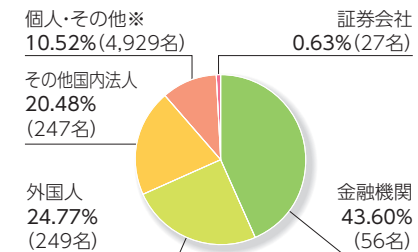
持分法適用会社

(株)コープクリーン
昭和興産(株)
AGRICULTURAL CHEMICALS (MALAYSIA) SDN.BHD.
SIPCAM EUROPE S.P.A.[イタリア]
NICHINO VIETNAM CO., LTD.

株式の状況

| | |
|----------|-----------------------|
| 発行可能株式総数 | 400,000,000株 |
| 発行済株式総数 | 103,714,442株 |
| 当中間期末株主数 | 5,508名 (前期末比196名減) |

所有者別株式分布状況



※「個人・その他」には自己株式が含まれております。

大株主(上位10名)

| 順位 | 株主名 | 株式数 (千株) | 持株比率 (%) |
|----|--|-------------|-------------|
| 1 | 日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託 口) | 7,467 | 7.20 |
| 2 | 株式会社日本カストディ 銀行(信託口) | 6,924 | 6.68 |
| 3 | 朝日生命保険相互会社 | 4,053 | 3.91 |
| 4 | みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託みずほ銀行 口再信託受託者株式会社 日本カストディ銀行 | 3,770 | 3.64 |
| 5 | ADEKA取引先持株会 | 3,048 | 2.94 |
| 6 | 全国共済農業協同組合 連合会 | 2,334 | 2.25 |
| 7 | 農林中央金庫 | 2,244 | 2.16 |
| 8 | 日本ゼオン株式会社 | 2,188 | 2.11 |
| 9 | 株式会社日本カストディ 銀行(信託口5) | 1,888 | 1.82 |
| 10 | 昭和興産株式会社 | 1,870 | 1.80 |

(注)当社は、自己株式6,902株を保有しており、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

ADEKAグループ CSRへの取り組み

ADEKAは、持続可能な社会の実現に向けて、社会的課題の中からADEKAが優先して取り組むべき「CSR優先課題」を特定しました。健全で透明性の高い経営を実践していくとともに、経営とCSRを統合し、企業価値向上と競争力強化を図っていきます。

ステークホルダーの声にしっかりと耳を傾け、地球環境、資源問題、食の安全など社会的課題の解決に取り組んでいます。ADEKAの事業分野である化学品、食品、ライフサイエンスにおいて、環境や社会に配慮しつつ、安心・安全で高機能・高品質な製品の提供を通じて、社会に新たな価値をもたらすよう日々努力を重ねています。こうしたADEKAの活動をお伝えするために、CSRレポートを発行していますので、ご覧いただければ幸いです。



CSRレポートは当社ホームページでもご覧いただけます。

<https://www.adeka.co.jp/csr/index.html>

ADEKAのCSR優先課題

| | 優先領域 | CSR優先課題 |
|---|------------------|------------------------|
| E | 環境 | 地球環境の保全 |
| | | 環境貢献製品の提供 |
| S | 豊かな暮らし・コミュニケーション | 社会の期待に応える価値創出 |
| | | ステークホルダーとの対話 |
| G | 人権・人財 | 人権の尊重 |
| | | 人財活躍の機会拡大 |
| G | ガバナンス | グループガバナンス・リスクマネジメントの強化 |